

マイトツプニュース

ごみ減らす心がけ必要



かくの
角野 さくらさん(南越中3年)

世界の「プラスチックごみ」は、スカイツリーの重さに換算して約17万個分。私は修学旅行でスカイツリーを訪れた。あのスカイツリーの17万個分のごみが再利用されずに捨てられていることに驚きを感じた。

日本の「プラごみ」の再利用率は世界の国と比べて高い水準だ。技術開発が進み、リサイクルの方法や製品が次々と新しく生まれた。そして、人々がリサイクルの大切さを知り、ごみの分別ルールを守るようになった

ということがこの結果につながったのだと思う。

この記事では世界の「プラごみ」は9%しか再利用されていないらしい。プラスチック製品は私たちの身の回りにたくさんあり、便利な物ばかりである。しかし、ごみとなった時、燃やし方によっては有害物質が出る可能性がある。つまり、資源を有効に使うためにもリサイクルは大切なことだ。今後の日本のために一人一人がごみを減らすように心がける必要がある。

1990年以降に世界で製造されたプラスチック製品の総量は8億トンを達し、この6億トンをどのように捨てるかという課題を、米ジョージア大の研究チームが19日付の米科学誌に発表した。
ごみの量約63億トンは、東京スカイツリーの重さに換算して約17万個分。再利用せずに

**世界のプラごみ
50年以降63億ト**

使い捨てられる容器などは何年も何十年も残ると、包装材料やペットボトルなどの警告している。容器は年々増加しており、2チーは樹脂や繊維など化学チーム推計 再利用は9%
050年には、ごみが120 学製品の純リサイクルを分析、データに照準を当てている。プラスチックの年間製造量。チームの研究書は「人類が、1950年の200万トンを生み出したプラスチックごみから15年には4億トンを増え